平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名　日華化学株式会社　　上場取引所　名
コード番号　4463　URL　http://nicca.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 江守　康昌
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門長　(氏名) 林　幸照　TEL 0776-24-0213

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	24,155	2.7	1,558	35.9	1,625	47.2	1,294	132.7
24年3月期第3四半期	23,529	0.4	1,146	16.7	1,104	27.9	556	17.6

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　1,437百万円　(783.6%)　24年3月期第3四半期　162百万円　(△31.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	73.53	―
24年3月期第3四半期	31.60	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	35,674	12,795	31.0	629.02
24年3月期	35,527	11,534	27.8	561.97

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　11,069百万円　24年3月期　9,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年3月期	―	5.00	―		
25年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	4.8	1,600	53.3	1,700	54.1	1,250	152.7	71.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 有
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	17,710,000 株	24年3月期	17,710,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	111,819 株	24年3月期	110,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	17,599,405 株	24年3月期3Q	17,601,215 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項につきましては、【添付資料】P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興事業等を背景とする緩やかな回復の兆しがみられるものの、欧州を中心とした金融問題や新興国の景気減速の懸念、不安定な為替相場・株式市場、雇用不安などから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は241億５千５百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は15億５千８百万円（同35.9%増）、経常利益は16億２千５百万円（同47.2%増）、四半期純利益は12億９千４百万円（同132.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①化学品事業

売上高は182億４千６百万円（同1.4%減）、セグメント利益は８億５千４百万円（同9.6%減）となりました。

海外では、韓国やインドネシアが好調に推移したものの、中国華南地区が繊維市場減速の影響等により苦戦し、国内では、長期化する円高や欧州経済の減速の影響等で繊維加工用薬剤や情報記録紙用薬剤等が低迷し、売上高は減少しました。

②化粧品事業

売上高は59億８百万円（同17.5%増）、セグメント利益は16億３千３百万円（同30.9%増）となりました。

美容サロン業界は、来店サイクルの長期化など環境悪化が続く中、デミコスメティクスではスキャルプシリーズ「ビオーブ」が引き続き好調に推移していることに加え、ナチュラル系ヘアケア「ユント」の投入などによるヘアケア剤拡販やイーラル株式会社での積極的な事業展開が奏功し、売上高は増加しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、１億４千６百万円増加し、356億７千４百万円となりました。現金及び預金の減少等はあったものの、有形固定資産、無形固定資産等の増加により、総資産は増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、11億１千３百万円減少し、228億７千８百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少及び長期借入金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、12億６千万円増加し、127億９千５百万円となりました。利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加及び少数株主持分の増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の27.8%から31.0%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期の業績や今後の経済状況等を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年1月31日）公表いたしました「平成25年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,306千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,373,168	2,624,816
受取手形及び売掛金	7,599,027	8,007,053
商品及び製品	2,612,571	2,648,254
仕掛品	593,584	586,745
原材料及び貯蔵品	2,517,857	2,492,791
その他	734,148	1,027,182
貸倒引当金	△31,978	△31,775
流動資産合計	18,398,379	17,355,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,096,678	6,403,367
機械装置及び運搬具（純額）	1,964,765	2,166,893
土地	6,034,750	6,077,474
その他（純額）	1,547,956	814,075
有形固定資産合計	14,644,151	15,461,809
無形固定資産		
のれん	24,312	374,027
その他	486,933	416,092
無形固定資産合計	511,245	790,119
投資その他の資産	1,973,740	2,067,105
固定資産合計	17,129,136	18,319,033
資産合計	35,527,516	35,674,101

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,827,363	3,367,749
短期借入金	7,622,144	7,505,643
未払法人税等	117,568	257,437
賞与引当金	397,000	243,500
その他	1,472,532	1,993,732
流動負債合計	13,436,608	13,368,063
固定負債		
長期借入金	7,486,264	6,377,678
退職給付引当金	2,242,580	2,267,478
その他	827,450	865,694
固定負債合計	10,556,294	9,510,851
負債合計	23,992,903	22,878,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,169	3,040,249
利益剰余金	6,692,217	7,810,373
自己株式	△45,824	△46,626
株主資本合計	12,585,107	13,702,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,039	58,056
為替換算調整勘定	△2,774,611	△2,690,963
その他の包括利益累計額合計	△2,694,571	△2,632,906
少数株主持分	1,644,077	1,725,552
純資産合計	11,534,613	12,795,187
負債純資産合計	35,527,516	35,674,101

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	23,529,911	24,155,286
売上原価	15,721,037	15,681,690
売上総利益	7,808,873	8,473,595
販売費及び一般管理費	6,661,961	6,915,119
営業利益	1,146,912	1,558,476
営業外収益		
受取利息	7,195	15,057
受取配当金	18,130	19,780
負ののれん償却額	2,100	－
持分法による投資利益	99,350	91,576
為替差益	－	31,951
その他	155,352	119,351
営業外収益合計	282,128	277,717
営業外費用		
支払利息	124,489	113,738
為替差損	74,132	－
売上割引	58,802	65,584
その他	66,984	31,151
営業外費用合計	324,408	210,475
経常利益	1,104,632	1,625,718
特別利益		
固定資産売却益	2,273	5,489
特別利益合計	2,273	5,489
特別損失		
固定資産除却損	9,102	3,085
固定資産売却損	383	203
投資有価証券評価損	－	1,053
出資金評価損	－	7,103
ゴルフ会員権評価損	1,310	－
減損損失	20,260	23,182
災害による損失	83,990	－
特別損失合計	115,046	34,628
税金等調整前四半期純利益	991,859	1,596,579
法人税等	318,771	264,523
少数株主損益調整前四半期純利益	673,087	1,332,056
少数株主利益	116,937	37,906
四半期純利益	556,150	1,294,150

(四半期連結包括利益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	673,087	1,332,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,221	△21,982
為替換算調整勘定	△475,190	127,258
その他の包括利益合計	△510,412	105,275
四半期包括利益	162,675	1,437,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,683	1,355,814
少数株主に係る四半期包括利益	△18,008	81,517

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第３四半期当連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	18,500,023	5,029,888	23,529,911	23,529,911
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,338	17,285	22,623	22,623
計	18,505,361	5,047,173	23,552,535	23,552,535
セグメント利益	945,383	1,247,351	2,192,735	2,192,735

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,192,735
セグメント間取引消去	12,190
のれんの償却額	3,455
全社費用（注）	△1,061,470
四半期連結損益計算書の営業利益	1,146,912

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

連結損益計算書上の減損損失20,260千円は、全社資産である遊休資産に係るものであり、報告セグメントに配分された固定資産の減損損失はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

当第３四半期当連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	18,246,342	5,908,944	24,155,286	24,155,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,444	17,875	23,320	23,320
計	18,251,786	5,926,820	24,178,606	24,178,606
セグメント利益	854,879	1,633,006	2,487,886	2,487,886

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,487,886
セグメント間取引消去	12,190
のれんの償却額	5,556
全社費用（注）	△947,156
四半期連結損益計算書の営業利益	1,558,476

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
「化学品」セグメントにおいて、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について遊休資産にグルーピングを行い、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては、23,182千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）
「化学品」セグメントにおいて、平成24年12月25日付で花王株式会社から花王グループ会社の３社（タイ花王、花王インドネシア化学、花王（台湾））が展開する繊維用化学品に関する事業を譲り受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては350,000千円であります。

（重要な負ののれん発生益）
該当事項はありません。